建築行政共用データベースシステム
台帳登録閲覧システム検証環境への
中間ファイル投入手順書

概要

・この資料は、台帳登録閲覧システム本番環境への中間ファイル投入に向けた事前チェックのため、ICBAより提供する検証環境の操作手順を記載したものです。

・シートは「投入・確認手順」と「削除手順」の2つで構成されています。

・最初に「投入・確認手順」をご参照いただき、「建築行政共用DBシステム　台帳登録閲覧システム　データ移行　基本設計書　4　IO設計」に基づき作成された中間ファイルを検証環境に投入してください。

・中間ファイルを複数に分けて作成した場合は、「投入・確認手順」に従い2つ目以降の中間ファイルを投入します。

・「削除手順」は、検証環境をリセットする際にご参照ください。

2019年5月

一般財団法人建築行政情報センター

改訂履歴

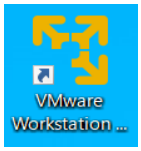
日付	内容	備考
2019/05/23	初版	
2019/07/05	新手順シートにログイン手順を追記、 投入データ削除手順を新規追加	
2020/09/14	検証環境の仮想化に伴う手順の全面改訂	
2020/11/01	説明補記 台帳システムにおける確認手順を追加	
2020/12/07	取込開始時の警告メッセージの画像追加	中間ファイルの追加取込手順記載
2021/02/05	表紙に機能概要を追記	

投入･確認手順

1.事前準備

Windowsログインパスワード:icbaadmin

1-1.デスクトップからVMwareを起動（Vmwareのバージョンが本資料と異なる場合があります）



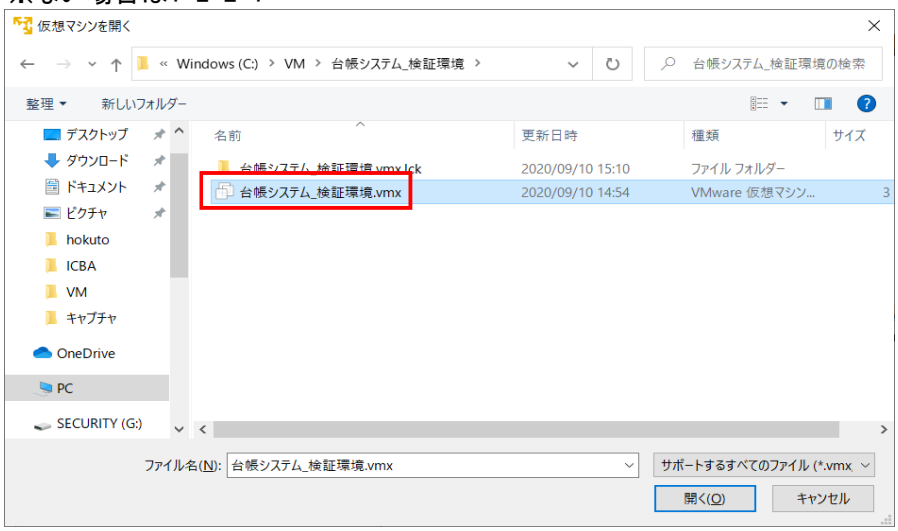
1-2.「台帳システム_検証環境」を選択

※表示されていない場合は1-2-1へ

1-2-1.「仮想マシンを開く」をクリック

1-2-2.C:¥VM¥台帳システム_検証環境から以下のファイルを開く

※ない場合は1-2-2-1へ



1-2-3.再度1-2へ

1-2-2-1.エクスプローラーを立ち上げてC:¥backupを開く

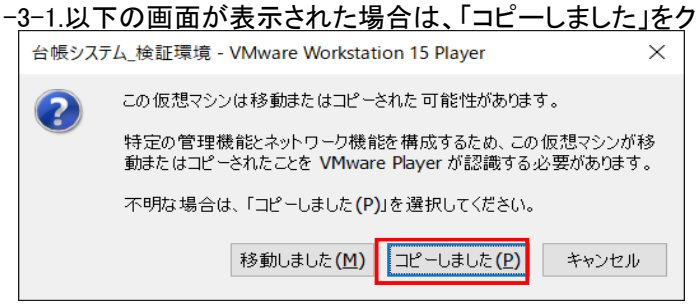
1-2-2-2.「台帳システム_検証環境」フォルダをコピーする

1-2-2-3.C:¥VMに張り付けて1-2-1からの手順を実施

1-2-2-4.再度1-2へ

1-3.「仮想マシンの再生」をクリック

1-3-1.以下の画面が表示された場合は、「コピーしました」をクリック

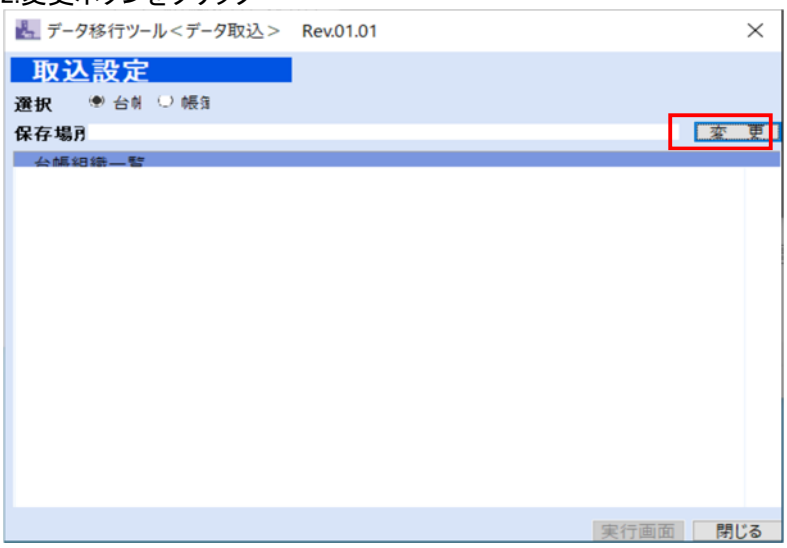


1-4.中間ファイルをC:¥ICBAに配置する
中間ファイルは、14桁の日付・時刻を名称とするフォルダ（例：20201101123456）

2.中間ファイル投入ツールの実行

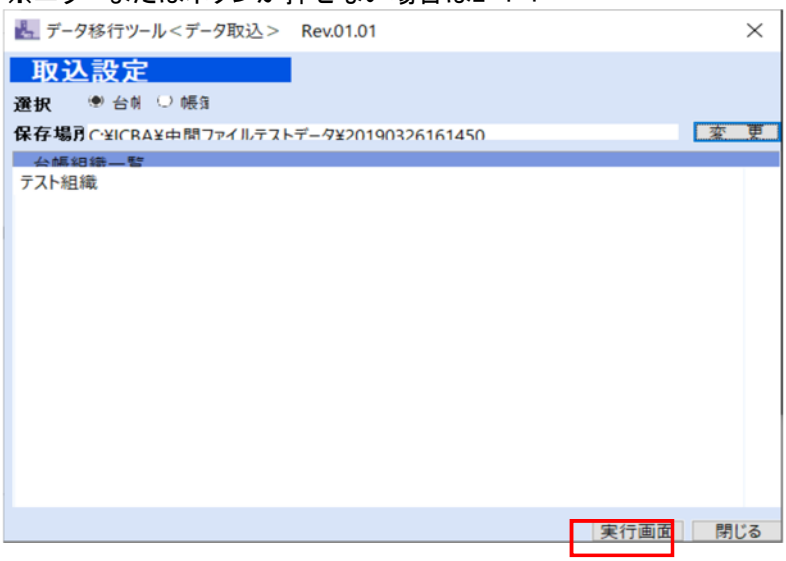
2-1.デスクトップから投入ツールを起動

2-2.変更ボタンをクリック



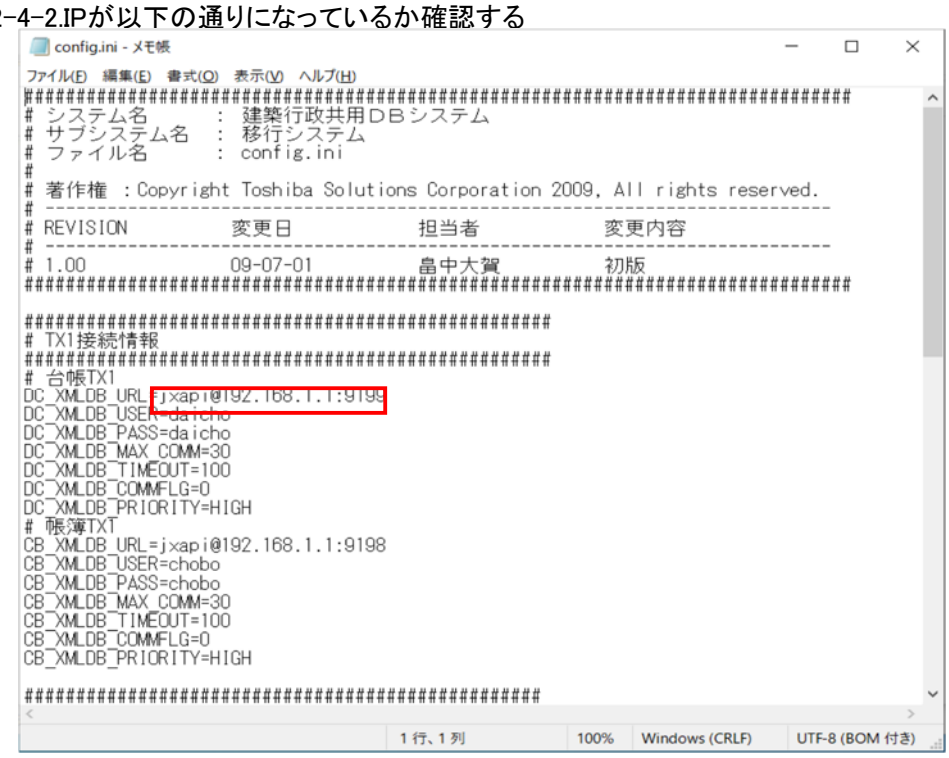
2-3.C:¥ICBAから1-4.で配置した中間ファイルを選択

2-4.台帳組織一覧に組織名が表示されたら実行画面ボタンをクリック
※エラーまたはボタンが押せない場合は2-4-1へ



2-4-1.C:¥ICBA¥data_torikomi¥hokuto¥config.iniを開く

2-4-2.IPが以下の通りになっているか確認する

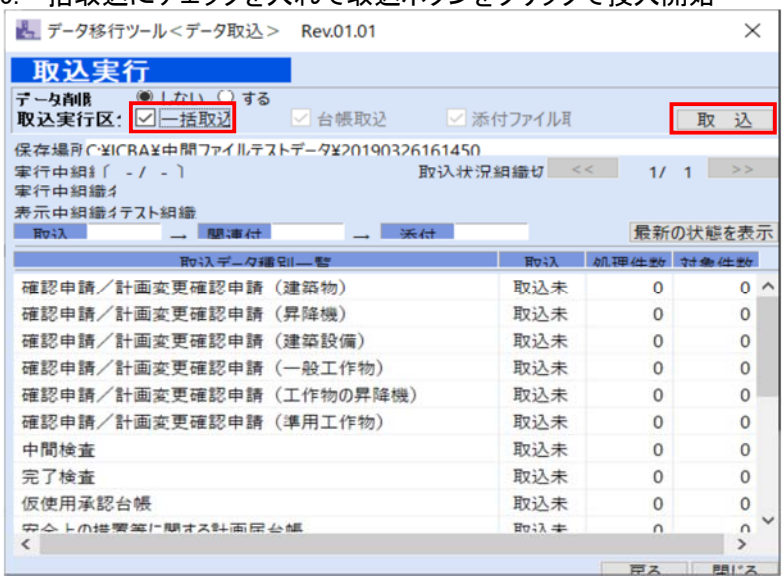


2-4-3.中間ファイル（日付・時刻フォルダ）直下のフォルダ名が以下の通りになっているか確認する

9000000000 （10桁）

＜補足＞
中間ファイルでは、組織ID＝'900000'（固定）、機関種別＝'41'又は'42'、
出先機関コード'00'～'09'となるが、上記フォルダ名はいずれの場合も10桁固定とする。
ICBAでは、中間ファイルの投入依頼を受けた後、上記フォルダ名を
[所定の組織ID]＋[0000]に変更するとともに、中間ファイルに記載された
組織ID'900000'（固定）を所定の組織IDに変更する。

2-5.一括取込にチェックを入れて取込ボタンをクリックで投入開始

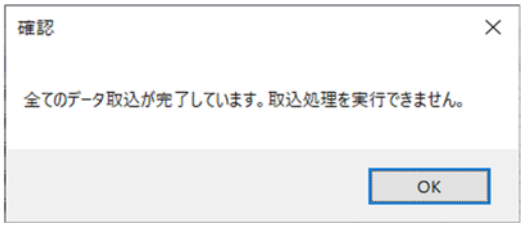


※以下のメッセージが出た場合、既に取り込み済みのデータが存在します。

◆中間ファイルを追加で取り込む場合は2-5-1へ

（1回目と同一の中間ファイルを取り込むと、全物件が上書きでなく別物件として追加されます）

◆初回の中間ファイル取り込みのやり直しの場合は「削除手順」へ

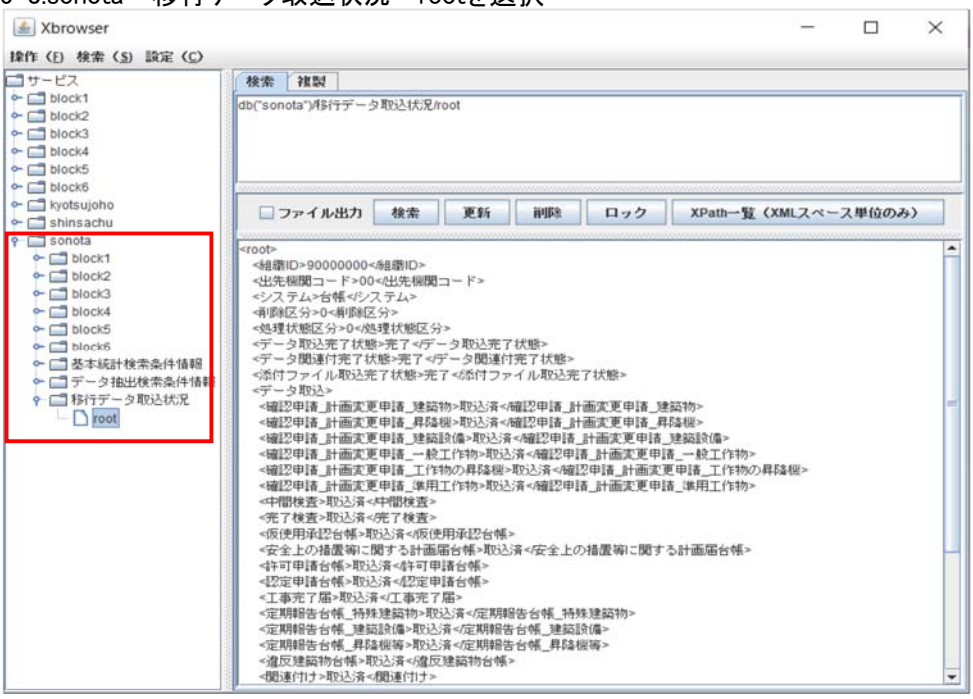


2-5-1.デスクトップから以下のツールを起動する

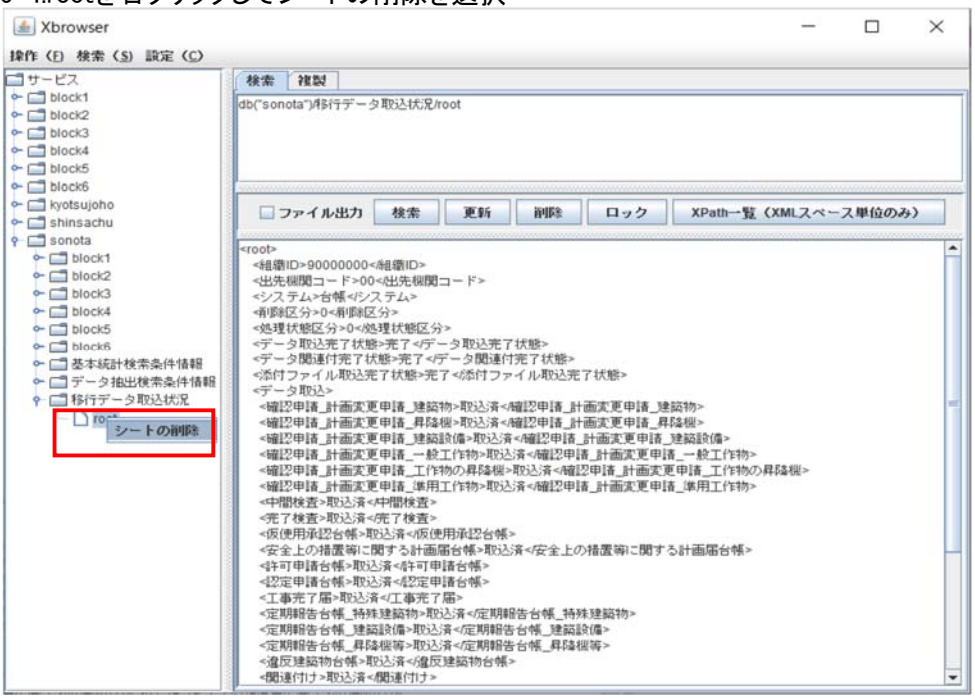
2-5-2.操作メニューから「接続」を選択し、以下の通り入力して接続をクリック

※パスワードはdaicho

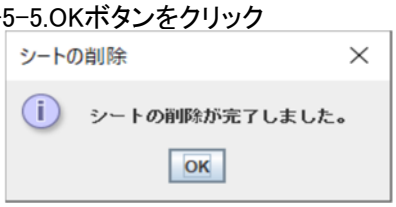
2-5-3.sonota→移行データ取込状況→rootを選択



2-5-4.rootを右クリックしてシートの削除を選択

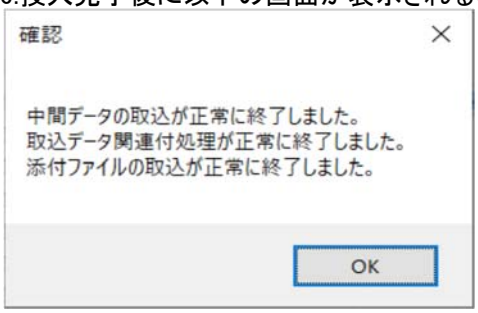


2-5-5.OKボタンをクリック

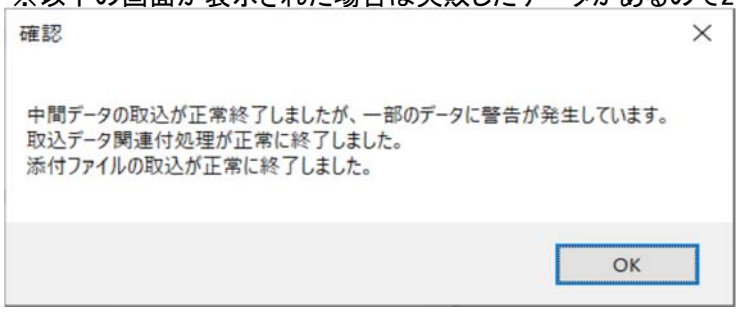


2-5-6.ツール（Xbrowser）を閉じて再度2-1へ

2-6.投入完了後に以下の画面が表示されるのでOKをクリック



※以下の画面が表示された場合は失敗したデータがあるので2-6-1へ



2-6-1.エクスプローラーで以下の2つのフォルダを開く

投入失敗した中間ファイルの吐き出し場所

C:¥ICBA¥RESULT¥<中間ファイルフォルダ>¥<14桁の日付>¥Input¥errdata

投入ログの吐き出し場所

C:¥ICBA¥RESULT¥<中間ファイルフォルダ>¥<14桁の日付>¥Input¥log¥9000000000

2-6-2.ログのエラーメッセージと中間ファイルを照らし合わせて内容を確認する

例：数値を入れる箇所にカンマが入っている

```
INFO,2020/02/26 14:06:11,処理開始
ERROR,,受付番号:,(),ファイル名:KakuShinKenchiku_00000002.xml,詳細:中間ファイルチェックエラーcvc-datatype-valid.1.2.3: '8,456' is not a valid value of union type 'long_null'.
```

2-7.閉じるボタンをクリック

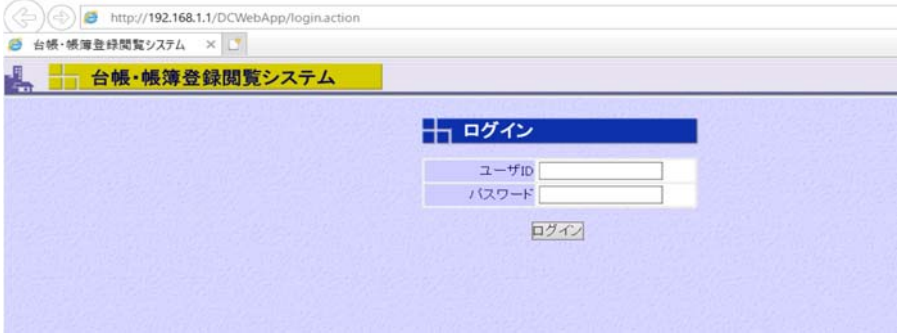
3.確認作業

3-1.デスクトップからIEを起動 （※あらかじめ1-1～1-3によりVMwareを起動しておく必要あり）

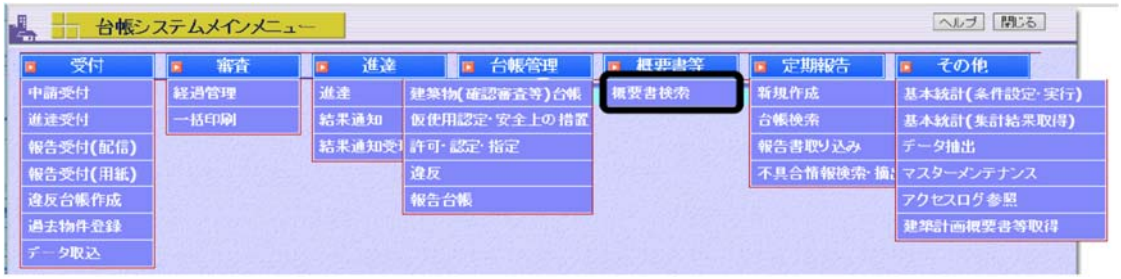
※「Internet Explorer11の設定」画面が表示された場合は、
「推奨設定を使用しない」を選択する

3-2.台帳システムを開く
http://192.168.1.231/DCWebApp/login.action

3-3.以下のIDでログイン
ユーザーID:icba
パスワード:icba



3-4.メインメニュー－「概要書等」－「概要書検索」と進む



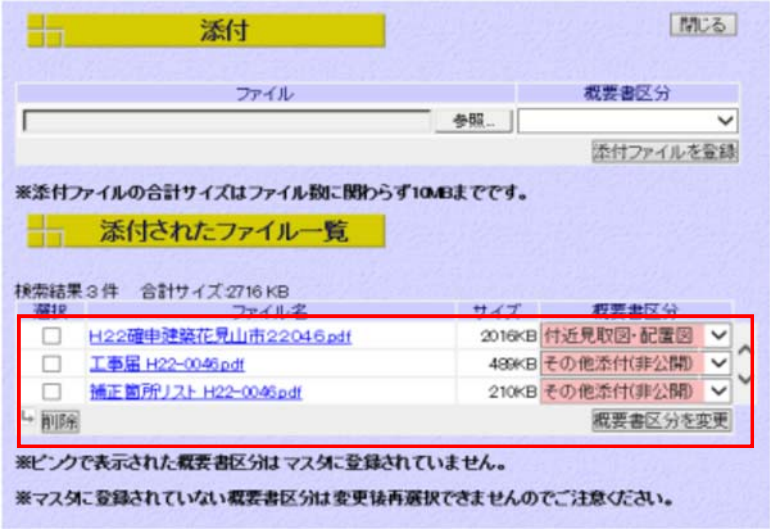
3-5.検索条件を入力し、「検索」を実行

3-6.番号、受付・処分年月日、建築主氏名等をチェックし、該当物件の「物件管理」を実行

3-7.「工事物件」欄にて、確認・中間・完了の紐づけ状態をチェックし、
確認申請の「経過管理画面へ遷移」右側の「実行」をクリック

3-8.「添付ファイル」をクリック

3-9.「添付されたファイル一覧」に、当該物件に紐づけるべき添付ファイルが表示されていること、建築計画概要書のファイルの「概要書区分」が「付近見取図・配置図」となっていることを確認して「閉じる」をクリック



3-8.内部審査欄、審査経過欄をチェックし、「申請データ編集」を実行。

3-9.確認申請書各面をチェック。以上で確認申請のチェックが完了。

3-10.「閉じる」をクリックして3-7の画面に戻り、中間検査、完了検査についても同様にチェック。

削除手順

1.仮想マシンの削除

1-1.デスクトップからVMwareを起動

1-2.「台帳システム_検証環境」を選択して右クリック

1-3.「ディスクから削除」をクリック

削除してよいかの「警告」画面が表示されるので、「はい」を選択する。

2.仮想マシンの復元

2-1.エクスプローラーを立ち上げてC:¥backupを開く

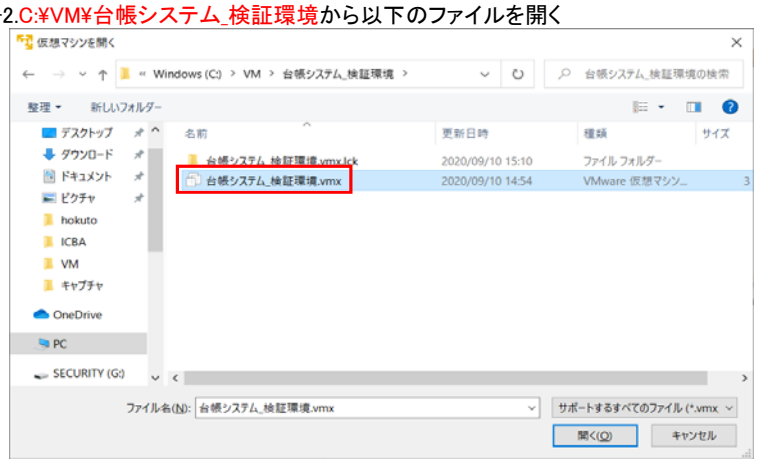
2-2.台帳システム_検証環境フォルダをコピーする

C:¥VMに張り付ける

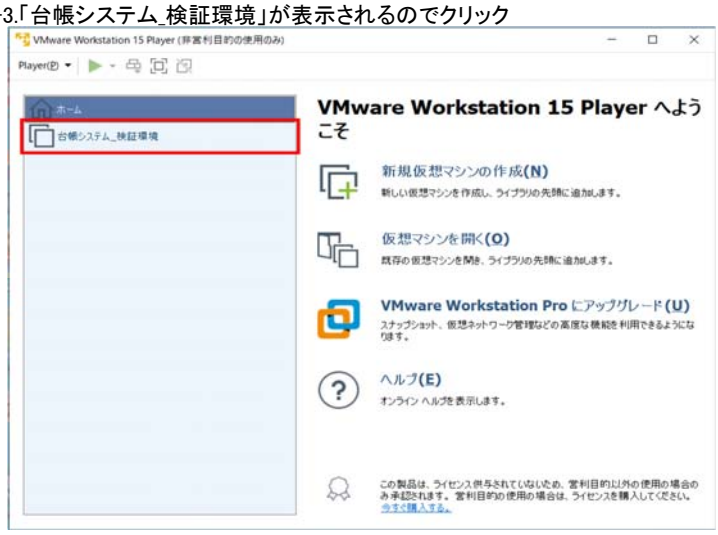
3.確認作業

3-1.VMwareで「仮想マシンを開く」をクリック

3-2.C:¥VM¥台帳システム_検証環境から以下のファイルを開く

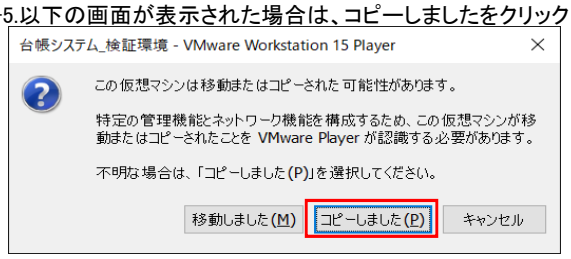


3-3.「台帳システム_検証環境」が表示されるのでクリック



3-4.「仮想マシンの再生」をクリック

3-5.以下の画面が表示された場合は、コピーしましたをクリック



3-6.デスクトップからIEを起動

3-7.台帳システムを開く
http://192.168.1.231/DCWebApp/login.action

3-8.以下のIDでログイン
ユーザーID:icba
パスワード:icba

3-9.検索画面等でデータが1件も登録されていないことを確認する